



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,511	1.5	1,724	20.4	1,471	18.5	1,170	21.4
2019年3月期第3四半期	24,150	18.1	2,167	89.2	1,806	91.4	1,490	93.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,227百万円 (18.8%) 2019年3月期第3四半期 1,512百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	292.47	
2019年3月期第3四半期	364.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,668	13,342	36.4
2019年3月期	36,627	12,557	34.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,342百万円 2019年3月期 12,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		40.00		60.00	100.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	0.2	3,000	23.7	2,850	19.1	2,200	31.8	549.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,717,895 株	2019年3月期	4,717,895 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	714,655 株	2019年3月期	713,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	4,003,643 株	2019年3月期3Q	4,088,343 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	
受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題などの影響により、景気の先行きに不透明感が増す状況となりました。

わが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いておりますが、世界経済の減速を背景に企業活動に弱さが見られました。

このような状況の中で当社グループは、中期経営計画「SHINKA 2022」の下、マーケティング体制の強化による拡販、サービス体制の拡充等に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は24,511百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は1,724百万円(前年同期比20.4%減)、経常利益は1,471百万円(前年同期比18.5%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,170百万円(前年同期比21.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工作機械

国内市場におきましては、前期後半からの中国市場における投資抑制などの動きにより、売上は前年同期に届きませんでした。受注につきましては、金属部品業界や電機機器業界から大型平面研削盤の受注がありましたが、一般的には経済活動の先行きを警戒し、設備投資の先送りをする動きが見られ、好調であった前年同期を下回る結果となりました。

海外市場におきましては、米国では航空機と医療機器業界を中心に新型平面研削盤の売上が寄与し、販売は堅調に推移いたしました。欧州ではイタリア、ポーランドを中心に販売は堅調に推移いたしました。ドイツの自動車業界の停滞の影響により受注は減少いたしました。アジアでは、東南アジアで大型平面研削盤の受注がありましたが、中国での貿易摩擦の長期化の影響が大きく、売上、受注共に前年同期を大きく下回りました。

以上の結果、売上高は17,757百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益(営業利益)は864百万円(前年同期比42.5%減)となりました。

② 半導体関連装置

半導体市場におきましては、データセンター向け設備投資やスマートフォン需要は調整局面が継続しているものの、中長期的にはIoTとAI技術の進化や次世代通信規格5Gといった技術革新を背景にしたメモリ向け投資の需要拡大が見込まれております。

このような状況の中で当社グループは、ポリッシュ装置や次世代パワー半導体用各種装置の販売増加に向けて、プロセス開発などの諸施策を前期より継続してまいりました。その結果、国内、東アジアにおいて、ウェーハ生産用のファイナルポリッシャーの販売が好調に推移いたしました。受注につきましては、依然として半導体業界の設備投資に慎重な姿勢が継続したため、前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は6,753百万円(前年同期比23.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1,587百万円(前年同期比18.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して41百万円増加し、36,668百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が3,528百万円減少した一方で、たな卸資産が2,844百万円、その他流動資産が261百万円、有形固定資産が512百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して744百万円減少し、23,325百万円となりました。主な要因は、短期借入金が1,863百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が424百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)が891百万円、未払法人税等が257百万円、その他流動負債が965百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して785百万円増加し、13,342百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加1,170百万円、配当金の支払いによる減少440百万円により730百万円増加したこと及び為替換算調整勘定が68百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の34.3%から36.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,363	4,298
受取手形及び売掛金	10,329	6,801
商品及び製品	1,954	2,637
仕掛品	5,331	7,446
原材料及び貯蔵品	2,697	2,744
その他	316	578
貸倒引当金	△50	△48
流動資産合計	24,943	24,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,774	3,737
機械装置及び運搬具(純額)	2,525	2,674
その他(純額)	3,462	3,862
有形固定資産合計	9,762	10,274
無形固定資産	76	94
投資その他の資産		
投資有価証券	82	80
退職給付に係る資産	539	613
その他	1,256	1,167
貸倒引当金	△35	△19
投資その他の資産合計	1,844	1,842
固定資産合計	11,683	12,211
資産合計	36,627	36,668
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,085	5,660
短期借入金	6,000	7,863
1年内返済予定の長期借入金	1,180	1,120
未払法人税等	296	38
賞与引当金	409	155
製品保証引当金	52	58
その他	4,471	3,505
流動負債合計	18,496	18,403
固定負債		
長期借入金	3,771	2,939
退職給付に係る負債	744	848
資産除去債務	123	123
その他	934	1,010
固定負債合計	5,573	4,921
負債合計	24,069	23,325

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	11,023	11,754
自己株式	△3,075	△3,077
株主資本合計	12,829	13,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△3
為替換算調整勘定	△432	△364
退職給付に係る調整累計額	160	151
その他の包括利益累計額合計	△271	△215
純資産合計	12,557	13,342
負債純資産合計	36,627	36,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	24,150	24,511
売上原価	16,330	16,994
売上総利益	7,819	7,516
販売費及び一般管理費	5,651	5,791
営業利益	2,167	1,724
営業外収益		
受取利息	5	12
受取配当金	1	2
助成金収入	3	9
物品売却益	21	19
その他	30	22
営業外収益合計	61	65
営業外費用		
支払利息	167	135
為替差損	70	125
支払手数料	144	8
その他	40	49
営業外費用合計	423	319
経常利益	1,806	1,471
税金等調整前四半期純利益	1,806	1,471
法人税等	316	300
四半期純利益	1,490	1,170
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,490	1,170

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,490	1,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△3
為替換算調整勘定	42	68
退職給付に係る調整額	△5	△8
その他の包括利益合計	22	56
四半期包括利益	1,512	1,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,512	1,227

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国を除く海外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表上に資産及び負債として認識しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,698	5,451	24,150	—	24,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,698	5,451	24,150	—	24,150
セグメント利益	1,503	1,342	2,846	△678	2,167

(注) 1. セグメント利益の調整額△678百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,757	6,753	24,511	—	24,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,757	6,753	24,511	—	24,511
セグメント利益	864	1,587	2,451	△726	1,724

(注) 1. セグメント利益の調整額△726百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	15,697	69.6	10,483	72.5
半導体関連装置	2,776	25.1	7,742	48.7
合計	18,473	54.9	18,225	60.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
工作機械	17,757	95.0
半導体関連装置	6,753	123.9
合計	24,511	101.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。